

約4カ月に及んだ塾を修了した第1期塾生たち。前列中央が伊藤塾長



# 農業ビジネス、手法学ぶ

## 起業家育成塾で修了式

農業の起業家を育成しよう  
と今年6月に開講した「登米  
アグリビジネス起業家育成塾  
(塾長 伊藤房雄 東北大学  
院教授)」が、4カ月に及ぶ  
全日程を終え、9月11日に迫  
町内のホテルで修了式を行  
いました。当日は、塾生のほか、  
地元農業団体や行政機関、企  
業、金融機関などから約70人

が参加しました。  
修了式では、ファイナル・  
プレゼンテーションとして24  
人の塾生を代表し10人が事業  
計画などを発表。地元経済界  
の関係者らが審査員を務め、  
講師やアドバイザーも  
プレゼンテーション終了後、  
伊藤塾長から塾生全員に修了  
証が授与されました。

# 市初のリトルシニア、躍進

## 登米シニアが東日本大会出場

市で初めてのリトルシニア  
野球チーム「登米シニア」が、  
東日本大会に出場するなど活  
躍しました。  
リトルシニアは硬式野球を  
扱う小学生から中学生までの  
チームのこと。登米シニアは  
2年前、当時中学1年だった  
市内の中学生で結成。現在は  
3年生になった生徒10人で各

種大会などに出場し、技術を  
磨いてきました。  
今年、6月に大崎市の鹿  
島台サンスタジアムなどを会  
場に開催された東北大会(54  
チーム出場)でベスト8入  
り。8月8日から山形市の天  
童スポーツセンター野球場な  
どで開催された東日本大会に  
出場しました。



東日本大会の出場報告に市役所を訪れ、  
布施市長から激励を受けた登米シニアナ  
イン(7月26日)

# 市民の視点でチエツク

## 25年度外部評価を実施

市が取り組んでいる事業に  
ついて、市民の視点から評価  
する行政評価の外部評価が、  
8月6、19の2日間、市役所  
迫庁舎を会場に開催されまし  
た。  
外部評価は、市が実施して  
いる事業を市民の視点から評  
価し、事業の見直しなどにつ  
いて助言をいただく取り組み

です。平成22年度から実施し  
ています。  
今年度は、市行政評価委員  
会委員5人により市の六つの  
基本事業を評価、事業が、よ  
り上位の目的に沿って有効に  
機能しているかなどが検証さ  
れました。今回実施された外  
部評価の結果は、市ホーム  
ページで公開しています。



市民委員5人により、市が実施している六  
つの基本事業を評価しました

# 消防団広報に役立てて

## 宮石運輸(株)が広報車寄贈



寄贈された広報連絡車。左は宮石運輸の後  
藤代表取締役、同右が布施市長

中田町の宮石運輸株式会社  
では、防災意識の高揚に役立  
ててもらおうと市に消防団広  
報連絡車1台を寄贈しました。  
受納式は8月6日に市消防  
防災センターで行われ、宮石  
運輸の後藤益美代表取締役が  
布施孝尚市長に広報連絡車の  
目録を贈呈しました。布施市  
長は「広報連絡車は、広く市

民の皆様へ情報を伝達するこ  
とが可能。防災無線による情  
報伝達を広報連絡車でカバー  
し、これからも安全安心な地  
域づくりを進めたい」と述べ  
ました。  
贈呈された広報連絡車は軽  
自動車バンタイプの四輪駆動  
車。消防本部が管理し、消防  
団九つの支団で活用します。

# 要援護者の避難先確保

## 2法人と災害時応援協定

市では、災害時の応援協定  
を、社会福祉法人恵泉会(千  
葉捷郎理事長)、医療法人財  
団姉齒松風会(姉齒秀平理  
事長)とそれぞれ締結しまし  
た。締結式は8月20日、市役  
所で行われました。

ど要援護者の避難施設として  
2法人が所有する社会福祉施  
設などを使用するものです。  
今回の締結により、恵泉会  
が所有する特別養護老人ホー  
ムやデイサービスセンターな  
ど市内15施設、姉齒松風会が  
所有する「なごみの里サポー  
トセンター(石越町)」が要援  
護者の避難施設となりました。



災害時応援協定にサインする布施孝尚市  
長(中央)と恵泉会の千葉理事長(右)、  
左は姉齒松風会の姉齒純子常務理事

# 11回目の夢舞台、輝く

## 劇団ドリーム☆キッズ公演



今年、中学校を舞台に子どもたちの心の葛藤や音楽の  
力などを表現。上質ではつらつとした演技で会場を魅了  
しました

市内の小学生から高校生ま  
でが中心となって構成してい  
る子ども劇団「ドリーム☆  
キッズ」の公演が、9月15、  
16の2日間開催されました。  
公演は毎年1回、登米祝祭劇  
場を会場に行っているもの  
で、今年で11回目となります。  
台風18号の影響で開催が危  
ぶまりましたが、2日間で約

1000人の人たちが子ども  
たちの演技を見に会場を訪れ  
ました。登米市「子どもミュ  
ジカル」を支える会代表の佐  
藤千恵子さん(登米町三日  
町)は「今年はメンバーが大  
幅に入れ替わり、とても心配  
していたが、本番では素晴ら  
しい演技を披露してくれた」と  
目を細めていました。